

本園の地域連携・地域交流

～さつまいもほりを通して～

三吉保育園

1. 目的と経緯

『新型コロナウイルス感染症』の感染拡大防止のため、例年行われている行事の多くが中止されました。特に「三密」を避けるための、学校及び地域の諸団体や他の保育園との連携においての催しのすべてが中止となる中、毎年行われている「芋ほり」は保育園近くの畑で耕作している方からお誘いがあり、現場で収穫体験をすることによって、『食』への関心が深まるので行わせてもらう事にいたしました。

2. 内容

年長児と年中児が、手袋と長靴を用意して、保育園近くの畑まで歩いて行き、耕作者の説明を聞いて作業に取り掛かりました。ことのほか豊作のため、実が大きくたくさんついているため、つる（茎）を引っ張っても抜けないので、芋の周りの土を取り除きながら時間をかけて収穫することができました。かなりの量なので園長のトラックで保育園へ運び、収穫した芋の一部は家に持って帰り、ほかの大部分は給食で使っております。また、後日には園庭でたくさんの落ち葉を集めて「焼き芋」をして食べました。

3. 成果と課題

土から掘り出した「さつまいも」の色と大きさに、ほとんどの子が感激し、歓声を上げて喜んでおりました。自分自身で収穫したお芋を家庭で調理して食べることにより、食物や食事への興味が深まることと思います。

青空も下で一生懸命作業した経験は、ほかの保育では味わえない貴重な経験であり今後も続けていきたいと思っております。

